



営業推進・営業教育・営業企画担当者に聞いた！

成長企業の営業研修に関する 実態調査

成長企業の約7割が「ロープレ」を実施

調査概要

調査機関

モノグサ株式会社

調査名称

成長企業の営業研修に関する実態調査

調査方法

IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画によるインターネット調査

調査期間

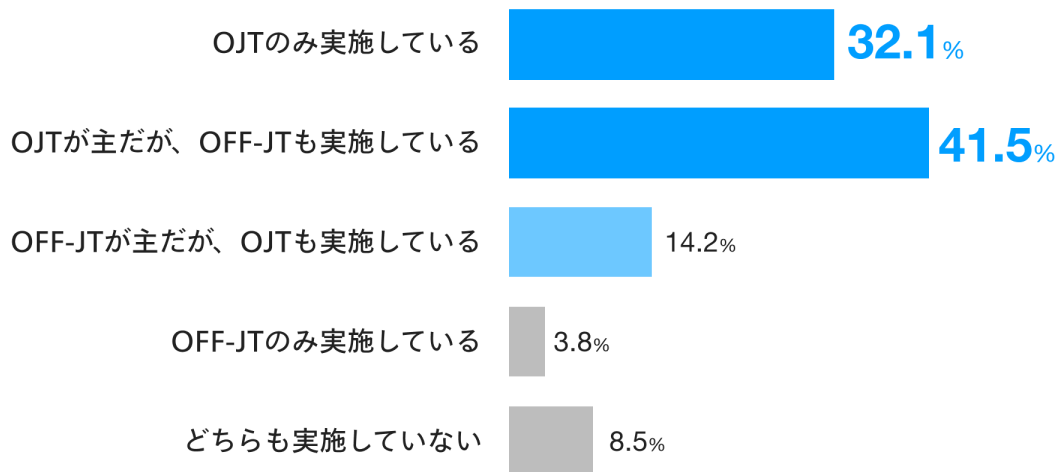
2024年6月13日～同年6月14日

有効回答

3期以上連続で増収している企業に勤める営業推進・営業教育・営業企画担当者106名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

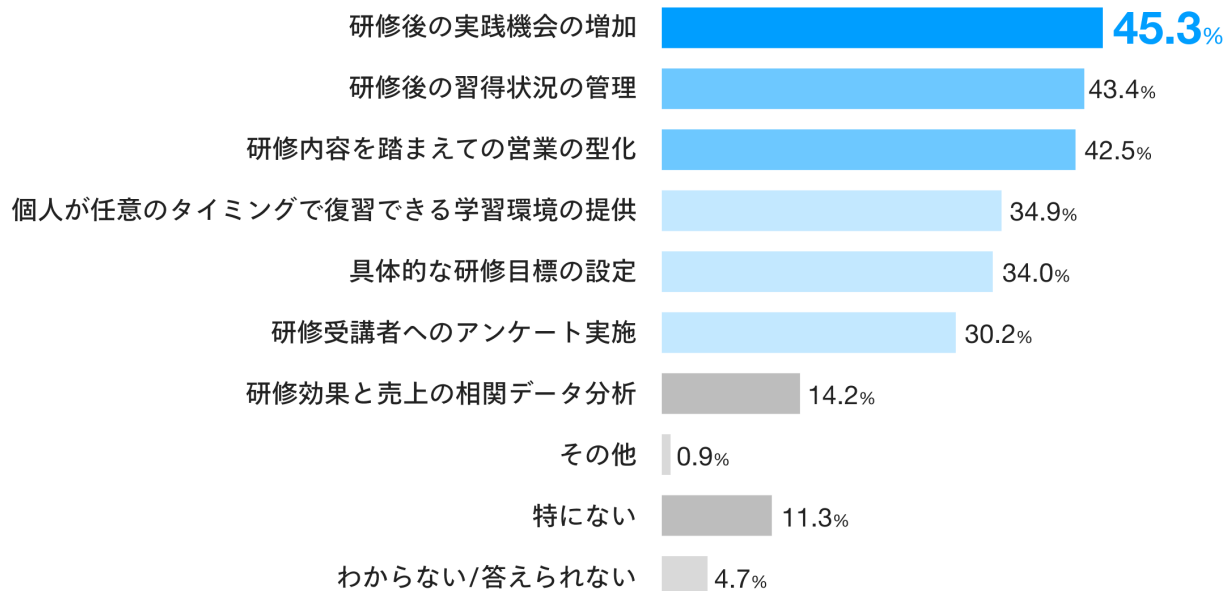
Q1. お勤め先では、「OJT」および「OFF-JT」研修を実施していますか。



3期以上連続で増収している企業の73.6%が、

「OJTのみ」または「主にOJT」を実施していることがわかりました。

Q2. 研修の効果を最大化するために行なっていることを教えてください。(複数回答)



研修の効果を最大化するために行っていることは、「研修後の実践機会の増加」「研修後の習得状況の管理」などが上位になりました。

Q3. Q2で「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。

Q2で回答した以外に、研修の効果を最大化するために行なっていることがあれば、自由に教えてください。（自由回答）

61歳 実践のきめ細やかなフォロー。

64歳 スキルマップによる成長の把握。

35歳 いろいろな人とのOJTと、その前後の座学で実務と確かな定着を目指す。

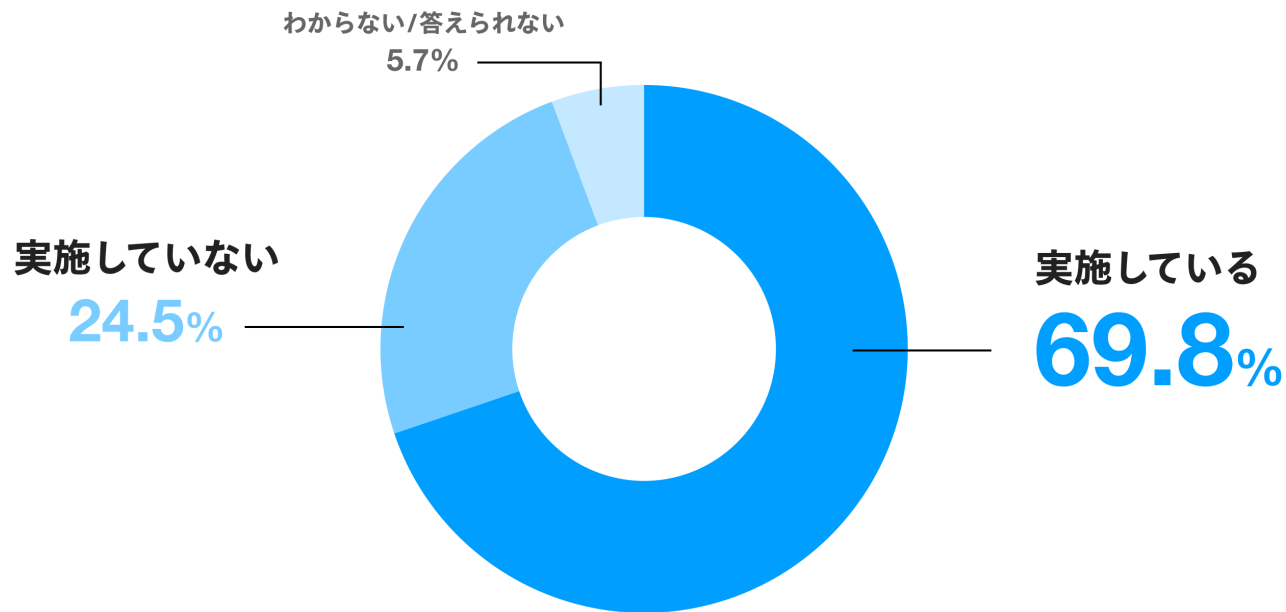
59歳 研修生相互が先生役をつとめる。

35歳 フィードバックからさらなる課題を見つけている。

48歳 コミュニケーションミーティング。

53歳 個人の性格でアドバイス。

Q4. あなたの企業では、営業教育の一環としてロープレを実施していますか。

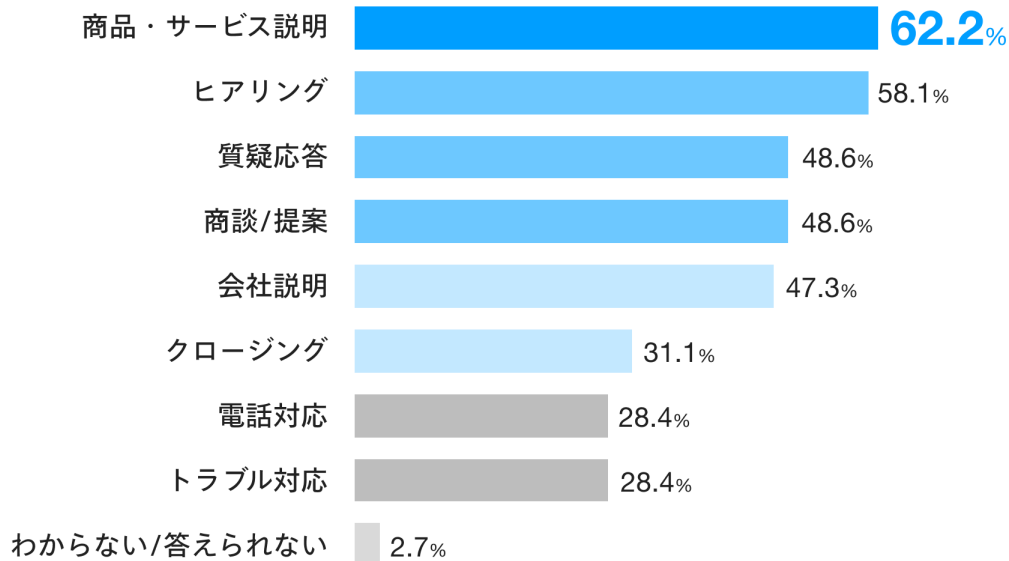


調査期間：2024年6月13日～同年6月14日
成長企業の営業研修に関する実態調査 | n=106

約7割が、営業教育の一環として「ロープレ」を実施していると回答しました。

Q5. Q4で「実施している」と回答した方にお聞きします。

どのような種類のロープレを行っていますか。 (複数回答)

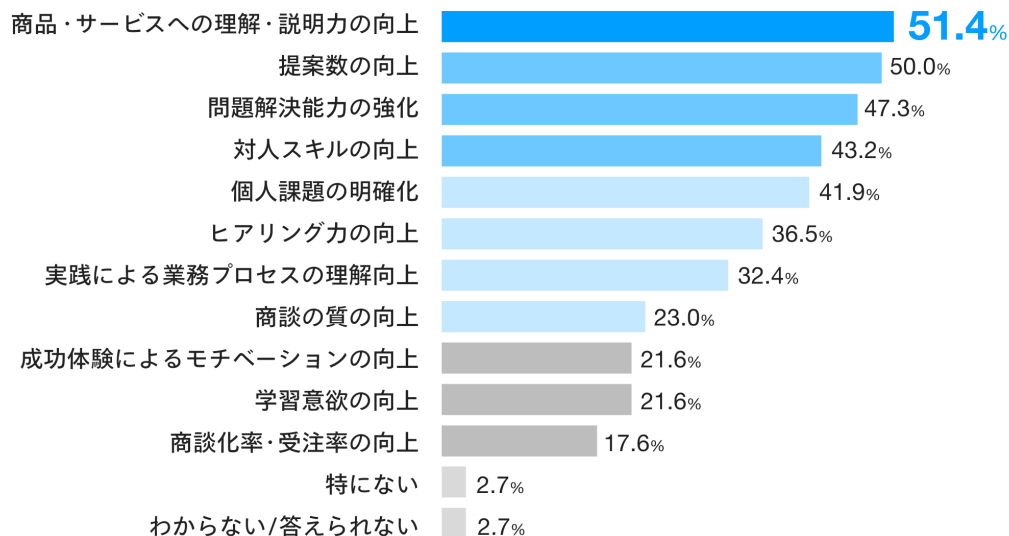


実施しているロープレは、

「商品・サービス説明」「ヒアリング」が上位に挙がりました。

Q6. Q4で「実施している」と回答した方にお聞きします。

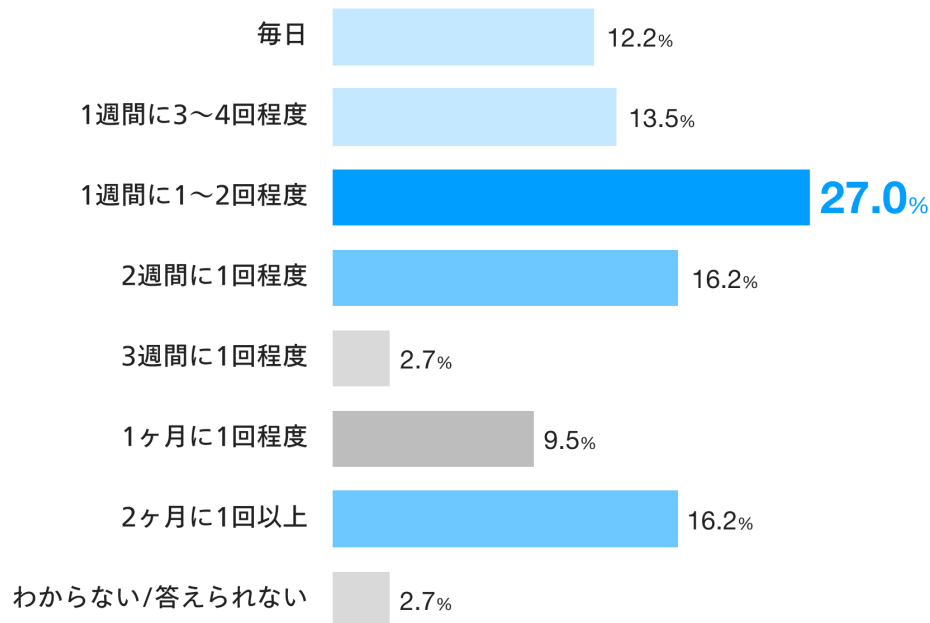
ロープレの実施により実感している効果を教えてください。（複数回答）



ロープレ実施により実感している効果は、
第1位は「商品・サービスへの理解・説明力の向上」となりました。

Q7. Q4で「実施している」と回答した方にお聞きします。

あなたの企業では、ロープレをどれくらいの頻度で行なっていますか。

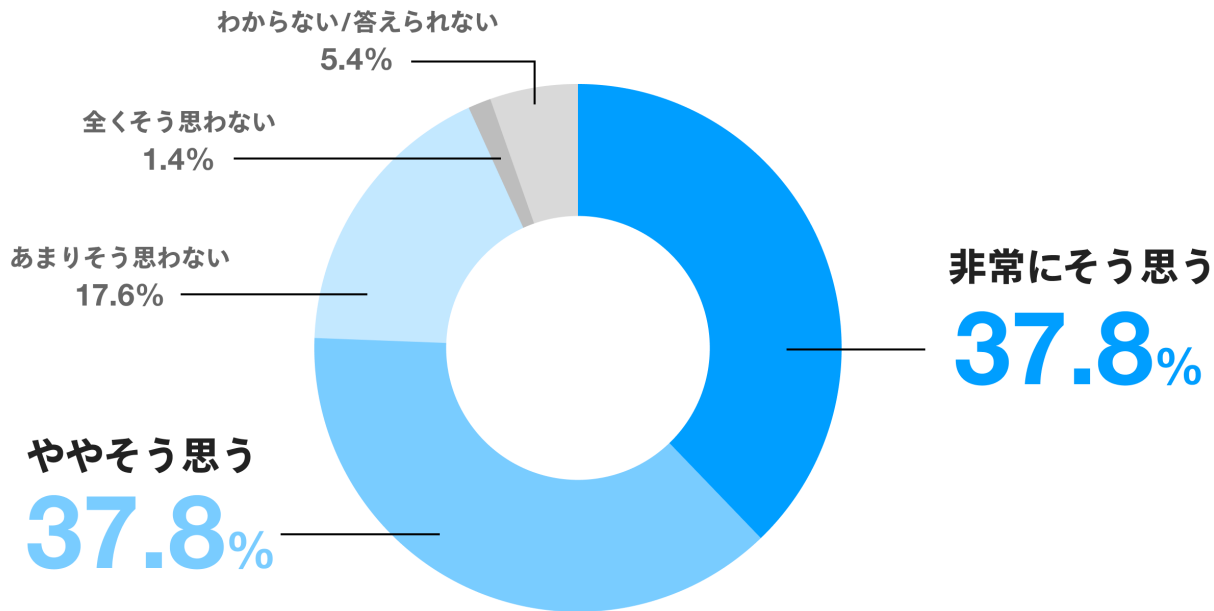


52.7%が、「1週間に1回以上」の頻度でロープレを実施していると回答しました。

調査期間：2024年6月13日～同年6月14日
成長企業の営業研修に関する実態調査 | n=74

Q8. Q4で「実施している」と回答した方にお聞きします。

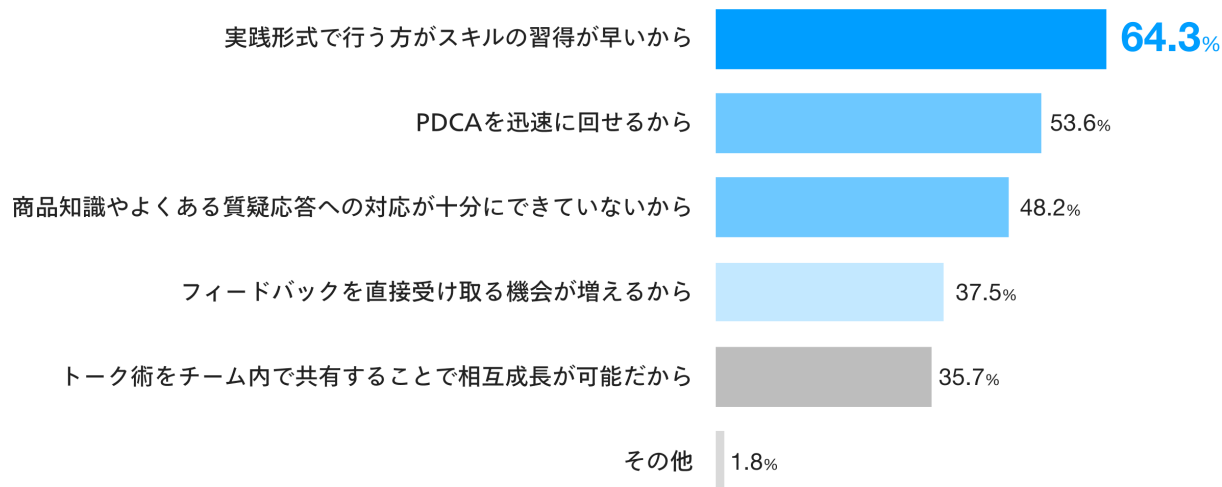
今後、ロープレの頻度をさらに上げていきたいと思いませんか。



約8割が、「ロープレの頻度をさらに上げていきたい」と回答しました。

Q9. Q8で「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。

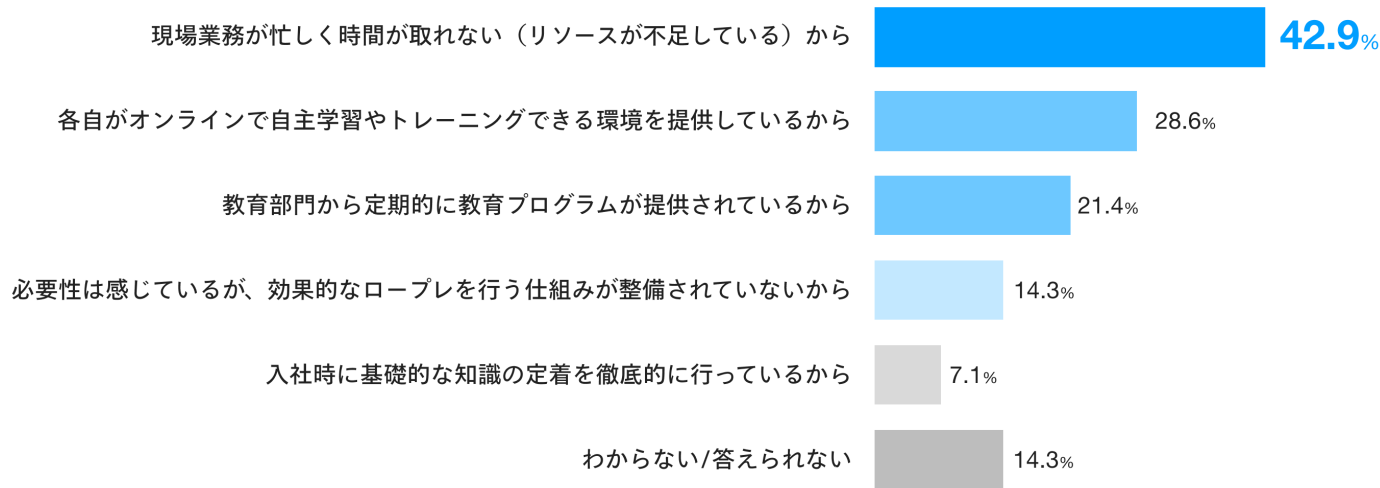
ロープレの回数を増やしたいと思う理由を教えてください。（複数回答）



ロープレの回数を増やしたい理由は、
「実践形式で行う方がスキルの習得が早いから」が
64.3%で最多となりました。

Q10. Q8で「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した方にお聞きします。

ロープレの回数を増やしたくない理由を教えてください。（複数回答）



ロープレの回数を増やしたくない理由は、
42.9%が「現場業務が忙しく時間が取れないから」と
回答しました。

モノグサ株式会社について

モノグサ株式会社は、「記憶を日常に。」をミッションとして掲げ、記憶定着のための学習プラットフォーム「Monoxer」の開発・提供をしております。

記憶は、私たち人類の知的活動の根幹を担うものです。人が何かを認識する時や、判断する時。新しいものを生み出す時や、誰かと交流する時も、そこには自らの中に日々蓄積されてきた記憶という土台が必ず存在し、大きな影響を与えています。一方で「英単語の暗記」のように、記憶することは苦しい活動と捉えられてしまうことが多々あります。その苦しさは、情報が記憶しやすい形に整理されていないことや、記憶定着までの手法や管理が個人の感覚に任されていることに原因がある、と私たちは考えます。その結果、記憶を無意識に遠ざけるようになってしまい、自らの可能性を形づくる土台をも狭めてしまっているのです。もし、記憶がだれにでも、負荷なく自然に行える活動になったなら、新しい言葉を覚えて海外で働くことも、資格をとってなりたい職業に就くことも自由にできます。週末の過ごし方や日常の何気ない会話にすら新たな広がり生まれることでしょう。つまり、人の生き方にさまざまな奥行きと選択肢を与えてくれるもの、それが記憶なのです。モノグサは、“記憶をもっと容易に、より日常にすること”を使命とします。すべての人が自らの可能性を最大限に拡げることで、人生をより豊かに、実りあるものにするために。



Monoxer

ようこそ、記憶の近道へ。



お問い合わせ

企業名

モノグサ株式会社

WEB

トップページ：<https://corp.monoxer.com/>

企業向けページ：<https://corp.monoxer.com/enterprise/>

お問い合わせフォーム

<https://corp.monoxer.com/contact/>

会社住所

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋3-8-5住友不動産飯田橋駅前ビル 7階



MONOXER